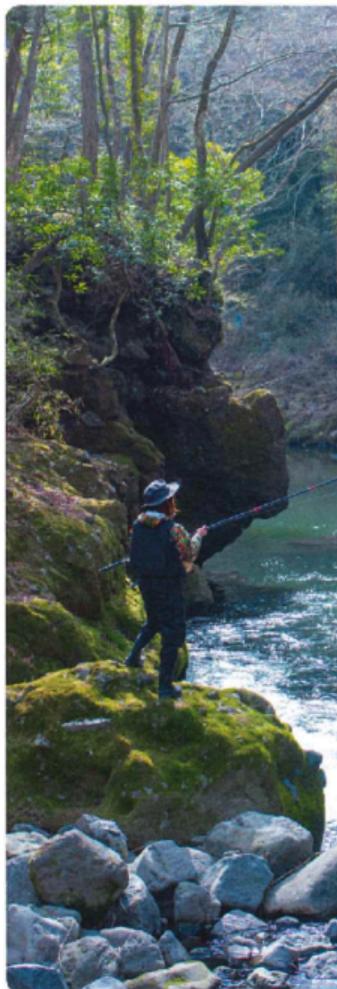


富士山麓で大型アマゴを追う

potential

御殿場市から水山町へと抜ける鮎沢川。アマゴ釣りで人気を博す渓流釣り場。主にアマゴの釣りで人気を博す渓流釣り場。主にアマゴのクセスも良いため、大型アマゴ釣りが楽しめるスポット。「アマゴ・アマゴ」とはまるで古文書で記載されるほど古くからある言葉だ。



鮎沢川

アマゴ釣り(エサ・ルアー・フライの半羽釣り)の解禁期間は3月第2日曜~4月6日。施設料は1日500円・宿泊料は2,000円(2月~3月)、4,000円(4月)。下町にはミスカカチ季キャッチャリースを販売中。

鮎沢川漁業 協会 090-6865-0414 (年会大人3,000円・高校生以下2,000円、日釣り料1,000円(施設料含む))

春・夏にアマゴ解禁! アクセスも良好

「深流の女王」ともいわれるアマゴは、美しいバーマークと朱点が特徴的な魚。御殿場市から小山町へと流れる鮎沢川は近年、アマゴ釣りのスポットとして注目を集めている河川です。最大の特徴は、何といってもその大きさ。体長30cmを超える大型のものは「オニアマゴ」と呼ばれていて、鼻が曲がった顔つきは姫様ものとは思えないほど野性味にあります。

解禁期間は毎年3月の第2日曜から9月末までで、エサ釣り、ルアー釣り、フライ釣りの3種が楽しめます。追加放流も毎月行なっていて、解禁日には大会も開かれているんですよ。今回はアマゴ釣りのポイントを、エサ釣りを中心にお届けしたいと思います!

釣りのポイントはいろいろありますが、JR足柄駅の近くにある「足柄ふれあい公園」と、御殿場アウトレット近辺の「牛潟が好アクセスでオススメ。特に「あしがらふれあい公園」にはトイレもあるので初めての人でも安心です。追跡券はイシグロ御殿場店など

ど近隣店舗のほか、インターネットで購入できます。

竿は状況によって坂さを要えられるよう、振り出し式の渓流竿を使用。川端の広いふれあい公園では6m、木が多い放流している牛潟では4~5mにすると扱いやすくなります。

天井糸も坂さの調節が可能な遊動式をチョイス。アタリを分かりやすくするため、ミニイトには目印を2~3個付けます。付ける位置

この文章はダミーです

この文章はダミーです

